

○ 東洋大学生命科学部規程

平成28年規程第26号・平成28年4月1日施行

改正

平成29年4月1日

平成29年8月1日

平成30年4月1日

平成31年4月1日規程第100号

令和3年4月1日規程第124号

令和4年4月1日規程第72号

令和6年4月1日規程第32号

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則(昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。)に基づき、生命科学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 生命科学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 生命科学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 生命科学部は、学則第39条第1項から第5項までの規定に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第5条 生命科学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

2 生命科学部は、4年次の必修科目等を履修するための条件を、別表第5のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 生命科学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を24単位とする。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、生命科学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育職員となる資格

(2) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格

2 前項第1号の資格において、生命科学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等	免許状の種類及び教科	
	中学校教諭 1種免許状	高等学校教諭1種免許状
生命科学科	理科	理科
生体医工学科	理科	理科
生物資源学科	理科	理科

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第8条 学則第45条第2項に基づき、生命科学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を取得しなければならない。

(1) 教育職員の資格別表第6に掲げる授業科目の単位を取得

(2) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格別表第7に掲げる授業科目の単位を取得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が生命科学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成27年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(平成29年規程第136号)

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(平成29年規程第212号)

1 この規程は、平成29年8月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、第3条別表第2のうち生命科学部生命科学科及び生命科学部応用生物科学科の「2.教育課程編成・実施に関する方針」については、平成29年度入学生より適用する。

附則(平成30年規程第76号)

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、別表第3及び別表第6は、なお従前の例による。ただし、第7条第1項第2号、第8条第1項第2号及び別表第7は、平成29年度入学生から適用する。

附則(平成31年4月1日規程第100号)

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(令和3年4月1日規程第124号)

1 この規程は、2021年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、2020年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(令和4年4月1日規程第72号)

1 この規程は、2022年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、2021年度以前の入学生については、第4条別表第3及び第8条第1号別表第6は、なお従前の例による。

附則(令和6年4月1日規程第32号)

1 この規程は、2024年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、2023年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表第1から別表第7まで省略(2024年4月1日施行)

別表第1 教育研究上の目的（第2条関係）

生命科学部

1. 人材の養成に関する目的

生命科学は、生命現象の原理を遺伝子・分子レベルから細胞・個体レベル、さらに個体群・生態系レベルで明らかにすることで、人類社会が直面している様々な社会的問題を解決し、地球社会に貢献することを目的とする学問領域です。生命科学部では、生命科学を教育研究することにより、生命の総合的理解の上に立って地球社会の発展に貢献できる創造的思考能力と倫理観を併せ持った人材を育成します。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

自然科学における「生命」「環境」「健康」「資源」を4大テーマとし、「生命科学科」「生体医工学科」「生物資源学科」の3学科で各々特徴ある教育に取り組みます。また、本学部の特色として、持続可能な開発目標（SDGs）の達成とグローバル人材育成に関する教育を推進しています。これにより、学生に生命科学の学問領域全般を体系的に修得させ、実社会での問題を解決する能力、新しい分野を切り拓いていく能力を身につけさせることを教育目標としています。

生命科学部生命科学科

1. 人材の養成に関する目的

生命科学科では、多様な生物が示す様々な生命現象についての基本的な理解と根本原理の解明を目指すとともに、発見した生命現象のしくみを応用することで、健康問題や環境問題を解決し、地球環境の維持と人類社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観を身につけ、生命科学に関する幅広い専門知識を理解し、生命が持つ根本的な原理から人類社会が直面する課題を発見するとともにその解決策を論理的に考えることができる人材を養成する。また、国際的な視野を持ち、多様な人々と協調しながら、修得した知識と技術を駆使し、自らの考えを適切に表現する能力を涵養する。さらに、地球環境及び人類社会の諸問題に関心を持ち、生命科学の知識や技術を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために自らの役割を果たす意欲の向上を図り、東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動できるようになることを目指す。

生命科学部生体医工学科

1. 人材の養成に関する目的

生体医工学科では、生命倫理に関する幅広い知識・教養を基盤に、生物学・医学を基礎とした人体の仕組みに関する学際的領域と生体医工学に関する基本から応用までの知識と技術を身につけ、我が国及び世界における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観、生体医工学に関する幅広い専門知識を修得させる。異なる文化・背景を持つ人々と協調し、地球規模の視野を持ち、物事を深く掘り下げて考える力を身につけ、また、修得した知識と技術を駆使して、課題を解決する能力、情報を発信する能力を発揮し、自らの考えを表現する力を涵養する。人間と工学における諸問題を実践的問題としてとらえ、国際社会共通の目標である持続可能な開発目標(SDGs)に関心と意欲をもって取り組む力及び東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動する力を養成する。

生命科学部生物資源学科

1. 人材の養成に関する目的

生物資源学科では、多様な生物の生命現象、生物資源の持続的活用、さらには生命を支える地球環境に関する総合的探求を通して、生物資源に関する総合的な知識と柔軟な思考による問題解決能力を涵養するとともに、人類の生存や安全で豊かな生活の基礎となる生物資源を活用して、人類が直面する課題の解決と持続可能な発展に貢献できる人材を育成します。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動することができ、自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観、生物資源に関する幅広い専門知識を理解し、生命科学に関する様々な情報を収集して総括し、論理的で柔軟な思考をすることができる人材を養成する。また、修得した知識と技術を駆使し、国内外の他者とのコミュニケーションを通じて、他者の意見を理解し、自分の考えを伝えることができる力を涵養する。さらに、生物資源及び人類社会の諸問題に関心を持ち、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために生命科学の知識や技術を活かす意欲を向上させる。

別表第2 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針（第3条関係）

生命科学部生命科学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

生命科学科では、生命がもつ根本的な原理を探究するとともに、それらを応用して自然環境と調和した人類の持続的発展に貢献できる人材を育成するという教育目標のもと、次の基準を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。

【学生が身につけるべき資質・能力】

- ・DP1（知識・理解）
自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観、生命科学に関する幅広い専門知識を理解している。
- ・DP2（思考・判断）
生命がもつ根本的な原理から人類社会が直面する課題を発見し、その解決策を論理的に考えることができる。
- ・DP3（技能・表現）
国際的な視野をもち、多様な人々と協調しながら、修得した知識と技術を駆使し、自らの考えを適切に表現することができる。
- ・DP4（関心・意欲）
地球環境及び人類社会の諸問題に関心をもち、生命科学の知識や技術を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために自らの役割を果たす意欲がある。
- ・DP5（態度）
東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動できる。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

生命科学科では、学科の掲げる教育目標及びディプロマ・ポリシーに求める学習成果の修得を実現するため、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を編成します。

- (1) 基盤教育科目では、哲学・倫理観を養う科目、俯瞰的視野を養うための教養科目、語学科目等国際人を形成するための科目、キャリア形成を支援する科目を配置します。また、外部の大学や研究機関より講師を招聘し幅広い知識を得ることのできる「未来共創概論」を配置します。
- (2) 生命科学に関する基礎知識を広く学修するため、基礎科学科目及び情報・倫理教育科目を学部共通科目として1、2年次に配置します。学部共通科目には、生命科学部に所属する全教員からそれぞれが専門とする分野の最先端研究を学ぶことのできる「先進科学創生論」を配置します。
- (3) 生命科学の応用的な知識を学修するために、他学科の教員が担当する選択科目の一部を履修可能とします。
- (4) コースに分かれて専門分野の先端知識を学修するための基盤として、各専門分野の基礎となる「動物発生学」、「細胞生物学I」、「動物生理学」、「環境資源学」、「公害防止総論」、「環境科学概論」を1年次から2年次前半にかけて配置します。
- (5) 2年次後半以降、生命科学分野の最先端の情報や知識を系統的に学修することを目的として、「生命機能コース」と「環境科学コース」の2つのコースを配置します。「生命機能コース」では動物個体や細胞の生理や構造について学び、それらを応用する知識や技術を修得します。「環境科学コース」では生物多様性と地球環境の持続可能な開発についての理論と実践を学びます。
- (6) 1年次後半から3年次前半にかけて「化学実験」、「生物学実験」、「生化学実験」、「分子生物学実験」を必修科目として配置し、3年次後半にはコース毎の選択必修実験科目を配置することにより、生命科学の実施に必要な基本的な実験手法と自主的・主体的に問題解決する能力及び自らの考えを表現する能力を養います。
- (7) 3年次後半から4年次にかけて研究室単位で開講する科目を配置します。「生命科学輪講I～III」ではゼミナール形式の授業を通じて、原著論文を読むためのスキルを修得し、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養います。4年次では、3年次までの学修課程で身につけた生命科学の専門的知識と技術をもとに、「卒業研究」に取り組み、「卒業論文」の執筆を行うことで、課題発見力、論理的思考力、問題解決力、表現力、行動力等総合的能力を向上させ、自然科学の発展や人類の持続的発展に資する人材を育成します。
- (8) 所定の条件を満たした学生は、3年次後半に研究室に所属でき、早期に卒業研究に取り組むことが可能です。
- (9) 大学院進学を目指す学生のために、4年次には大学院科目を一部履修可能とし、より専門的かつ高度な知識を学修可能とします。

3. 入学者の受入れに関する方針

生命科学科では、学科の掲げる教育目標をもとに、「教育課程の編成及び実施に関する方針」を実施するために、入学を希望する者に対して各種選抜試験を実施し、下記の要件を満たすと判断した者に入学を許可します。

<学科が求める人物像>

生命科学科では、学士課程教育を行うにあたり、次のような能力を備えていると判断される者を受け入れることとします。

- (1) 高等学校で履修する理科（化学・生物）、外国語、数学等について、高等学校卒業相当の知識を有している。
- (2) 自らの考えをまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。
- (3) 生命・健康・自然環境・生物多様性等に関する問題に関心をもち、解決に向けた行動、貢献をする意欲がある。
- (4) 他者との相互理解に努め、自ら学び行動することができる。
- (5) 新しい分野を切り開き、困難なことに挑戦しようとする意欲がある。

<入学までに修得すべき学習等への取り組み>

生命科学科に入学する者として、次のように学習等に取り組んでもらうことを求めます。

- (1) 高等学校で履修する科目、特に理科（化学・生物）、外国語（英語）、数学について、教科書レベルの知識を十分に修得しておくこと。
- (2) 目的意識を持って課題等に取り組み、自らの考えを論理的に表現できるようになること。
- (3) 現代社会が直面している諸問題について関心をもち、問題の背景も含めた基礎的知識を深めること。

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

生体医工学科では、自然界のシステムや生物の構造・機能の観察を通じて、生命科学と医療工学に関する諸事象に興味と関心を持ち、医療・健康・福祉分野における「ものづくり」を通じて、社会に貢献できる人材を育成するために、次の基準を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。

・DP1 (知識・理解)

自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観、生体医工学に関する幅広い専門知識を理解している。

・DP2 (思考・判断)

異なる文化・背景を持つ人々と協調し、地球規模の視野を持ち、物事を深く掘り下げて考えることができる。

・DP3 (技能・表現)

修得した知識と技術を駆使して、課題を解決する能力、情報を発信する能力を発揮し、自らの考えを表現することができる。

・DP4 (関心・意欲)

人間と工学における諸問題を実践的問題としてとらえ、国際社会共通の目標である持続可能な開発目標(SDGs)に関心と意欲をもって取り組むことができる。

・DP5 (態度)

東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動できる。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

生体医工学科では、学科の掲げる教育目標及びディプロマ・ポリシーに求める学習成果の修得を実現するため、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を編成します。

(1) 本学の建学の精神「独立自活」、「知徳兼全」を涵養する基盤教育科目を配置し、グローバル人材を育成するための哲学教育、語学教育、キャリア教育を行います。

(2) 生命科学に関する基礎知識を学修する学部共通基礎科目群を1、2年次に配置します。基盤教育科目には、外部の大学や研究機関より講師を招聘し幅広い知識を得ることのできる「未来共創概論」を配置します。学部共通科目には、生命科学部に所属する全教員からそれぞれが専門とする分野の最先端研究を学ぶことのできる「先進科学創生論」を配置します。また、生体医工学科の専門科目として、医学（人体の科学、解剖学、生理学）、理学（生物学、化学、物理学A・B）、工学（電気工学、機械工学、システム工学）のバランスのとれた知識を備えた学生を育成できる科目も配置するとともに、生命科学科と生物資源学科の専門基礎科目群も履修可能とし、幅広い生命科学分野の教育を行います。

(3) 生体医工学の応用的な知識を学修するため、他学科の教員が担当する選択科目の一部を履修可能とします。

(4) 1年次から3年次までに、臨床工学技士の国家試験を受験するために必要な基盤教育科目、専門科目を配置し、他学科でも受講できるように開講します。

(5) 1年次から2年次にかけて「生物学実験」「物理学実験」「化学実験」の基礎実験科目と、「生体医工学実験Ⅰ・Ⅱ」の学科専門実習科目を配置し、生命科学と生命工学の基礎となる知識と経験を修得可能とします。

(6) 2年次後半以降、再生医療／細胞工学や健康科学等の生命工学を学ぶ「生体工学コース」と、医療機器や医療材料等の先端応用領域を学ぶ「医工学コース」の2つのコースを編成しながら、各コースの専門授業科目（コースワーク）は横断的に履修することを可能とし、3年次の「生体医工学実験Ⅲ・Ⅳ」では、各コースの専門実習を行うことで、医工学融合領域について幅広い知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成します。

(7) 3年次後半に研究室配属となり、コース毎に研究室単位で開講する実習科目を配置し、早期に卒業研究に取り組むことが可能となり、さらに原著論文を読むためのスキルを修得し、物事を多面的かつ論理的に考察する能力、及び、その内容を的確に情報発信できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養うための「生体医工学輪講Ⅰ～Ⅲ」を3年次後半から4年次に配置します。

(8) 4年次には、卒業研究の遂行と卒業論文の執筆を通じて、生命科学教育から学んだ成果を人類の健康・福祉・医療に役立てるための「ものづくり」の知識と経験を備えた学生を育成します。

(9) 大学院進学を志す学生のために、4年次には大学院科目を一部開講し、より専門的かつ高度な科目分野を学修可能とします。

3. 入学者の受入れに関する方針

生体医工学科では、学科の掲げる教育目標をもとに、「教育課程の編成及び実施に関する方針」を実施するために、入学を希望する者に対して各種選抜試験を実施し、下記の要件を満たすと判断した者に入学を許可します。

<学科が求める人物像>

生体医工学科では、学士課程教育を行うにあたり、次のような能力を備えていると判断される者を受け入れることとします。

(1) 高等学校で履修する理科（物理・生物）、外国語、数学等について、高等学校卒業相当の知識を有している。

(2) 自分が学習した内容を的確に表現し、伝えることができる。

(3) 自然界のシステムや生物の構造・機能の観察を通じて、医療・福祉・健康等に関する諸事象に興味と関心を持ち、これら課題の解決に貢献する意欲がある。

(4) 対話等により他者との相互理解に努め、自ら学び行動する態度を有する。

<入学までに習得すべき学習等への取り組み>

生体医工学科に入学する者として、次のような学習等に取り組んでもらうことを求めます。

(1) 高等学校で履修する科目、特に理科（物理・生物）、外国語（英語）、数学について、教科書レベルの知識を十分に修得しておくこと。

(2) 医療・福祉・健康・スポーツ等、生体医工学の分野に興味と関心を持ち、「医学と工学の融合領域で国際的に役立ちたい」との考えを持っていること。

(3) 工学の技術を駆使して、細胞、個体等生命の多階層に応じた解析や測定法に興味を持っていること。

(4) モラルや倫理観及び国際感覚を持ち、責任ある行動を取ることができること。

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

生物資源学科では、生物資源を活用する能力を身につけ、人類が直面する課題の解決と持続可能な発展に貢献できる人材を育成するために、次の基準を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。

【学生が身につけるべき資質・能力】

・DP1 (知識・理解)

自然・人間・社会に関する幅広い教養と高い倫理観、生物資源に関する幅広い専門知識を理解している。

・DP2 (思考・判断)

生命科学に関する様々な情報を収集して総括し、論理的で柔軟な思考をすることができる。

・DP3 (技能・表現)

修得した知識と技術を駆使し、国内外の他者とのコミュニケーションを通じて、他者の意見を理解し、自分の考えを伝えることができる。

・DP4 (関心・意欲)

生物資源及び人類社会の諸問題に関心を持ち、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために生命科学の知識や技術を活かす意欲がある。

・DP5 (態度)

東洋大学の建学の理念に基づいて考えて行動できる。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

生物資源学科では、学科の掲げる教育目標及びディプロマ・ポリシーに求める学習成果の修得を実現するため、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を編成します。

(1) 基盤教育科目では、本学の建学の精神「独立自活」、「知徳兼全」を涵養し、グローバル人材を育成するため、哲学、語学、キャリア形成に関する科目を配置します。また、他大学や外部研究機関、企業等から招聘した講師の講義等により、幅広い知識を得るための「未来共創概論」を配置します。

(2) 生命科学や情報、倫理に関する基礎知識を学修するため、基礎科学科目及び情報・倫理教育科目等の学部共通科目を1、2年次に配置します。また、学部共通として、生命科学部全学科の教員の先端専門分野を知ることができる「先進科学創成論」を1年次に配置します。

(3) 生物資源学の応用的な知識を学修するため、他学科の教員が担当する選択科目の一部を履修可能とします。

(4) 植物科学と微生物科学の各専門分野の基礎となる「植物科学」、「植物生理学」、「微生物学」、「微生物利用学」を1年次から2年次前半にかけて配置します。

(5) 2年次後半以降、系統的に専門性を養うため、農業・化学・薬学分野の植物資源の活用を学ぶ「植物科学コース」と、幅広い微生物の科学と応用について学ぶ「微生物科学コース」の2つのコースを配置します。

(6) 1年次後半から3年次前半にかけて「化学実験」、「生物学実験」、「生化学実験」、「分子生物学実験」を必修科目として配置するほかに、3年次後半にはコース毎の選択必修実験科目を配置することにより、生物資源学に関する研究の実施に必要な基礎的な知識や技術を修得します。

(7) 3年次後半以降、原著論文を読むためのスキルを修得し、物事を多面的かつ論理的に考察する能力、及び、その内容を的確に情報発信できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養うための「生物資源学輪講I～III」を配置します。

(8) 4年次では、3年次までに身につけた専門知識と技術をもとにして、卒業研究を実施し、卒業論文の執筆を行うことで、発想力、論理的思考力、問題解決力、表現力等総合的能力の向上を図り、生物資源を活用できる専門性を養います。

(9) 条件を満たした学生は、3年次後半に研究室に所属でき、早期に卒業研究に取り組むことが可能です。

(10) 大学院進学を志す学生のために、4年次には大学院科目を一部開講し、より専門的かつ高度な科目分野を学修可能とします。

3. 入学者の受入れに関する方針

生物資源学科では、学科の掲げる教育目標をもとに、「教育課程の編成及び実施に関する方針」を実施するために、入学を希望する者に対して各種選抜試験を実施し、下記の要件を満たすと判断した者に入学を許可します。

<学科が求める人物像>

生物資源学科では、学士課程教育を行うにあたり、次のような能力を備えていると判断される者を受け入れることとします。

- (1) 高等学校で履修する理科（化学・生物）、外国語、数学等について、高等学校卒業相当の知識を有している。
- (2) 自分が学習した内容を的確に表現し、伝えることができる。
- (3) 生物（植物や微生物等）とそれらに由来する生物資源に加え、日本や国際社会が直面する課題に関心を持ち、これら課題の解決に貢献する意欲がある。
- (4) 対話等により他者との相互理解に努め、自ら学び行動する態度を有する。

<入学までに習得すべき学習等への取り組み>

生物資源学科に入学する者として、次のように学習等に取り組んでもらうことを求めます。

- (1) 高等学校で履修する科目、特に理科（化学・生物）、外国語（英語）、数学について、教科書レベルの知識を十分に修得しておくこと。
- (2) 目的意識を持って課題等に取り組む、自らの考えを的確に表現できるようになること。
- (3) 日本や国際社会が直面する諸問題について関心を持ち、これらの問題に対して自分の考えを持つため知識を深めること。

別表第3 教育課程（第4条関係）

(1) 生命科学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択必修	井上円了と東洋大学	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命倫理	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	哲学入門	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命哲学	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命論	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	倫理学	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	宗教学	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	心理学	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	文化人類学入門	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	人文地理学入門	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	歴史学	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	美術史	1~4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択必修	文学	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	経済学入門	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	スポーツ社会学	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	ソーシャルサーベイ概論	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	政治学入門	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	法学入門	1~4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	社会学入門	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	現代化学	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	科学技術論	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	現代物理学	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	生命科学史	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	現代生物学	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	数学の世界	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	基礎統計学	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	食と健康	1~4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択必修	天文学	1~4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	欧米の文学と文化	1~4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	異文化と社会事情	1~4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	日本の食文化	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	文化間コミュニケーション	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外フィールドワーク	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	英語ビジネス実務	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外文化研修	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	留学のすすめ	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	異文化理解概論	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅰ	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅱ	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅰ	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅱ	1~4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅰ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅱ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅲ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅳ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅰ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅱ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅲ	1~4	1	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅳ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	必修	Integral English I	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	Integral English II	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	English Communication I	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	English Communication II	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	English Speech & Presentation	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	English Reading & Writing	2	1	
国際人の形成（語学）	選択	Applied English I	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Applied English II	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	TOEIC Foundation	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅰ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅱ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	ハンブルⅠ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	ハンブルⅡ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	フランス語Ⅰ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	フランス語Ⅱ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	スペイン語Ⅰ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	スペイン語Ⅱ	1~4	1	
国際人の形成（語学）	選択	テクニカルライティング	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	アカデミックライティング	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Business English Communication	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1~4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1~4	2	

国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Writing	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	日本語 I	1	1	外国人留学生のみ履修可
国際人の形成 (語学)	選択	日本語と日本社会	1	1	
国際人の形成 (語学)	選択	日本語 II	2	1	
国際人の形成 (語学)	選択	日本語と日本文化	2	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese for Beginners: Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese for Beginners: Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese I Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese I Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese II Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese II Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese III Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese III Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society A	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society B	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology A	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology B	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	日本国憲法	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	未来共創概論	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	情報処理基礎	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	情報処理演習	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデザイン I	1	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデザイン II	2	2	
キャリア・市民形成	選択	知的財産法	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	社会貢献活動入門	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	ダイバーシティ論	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	グローバル市民論	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	情報倫理	1~4	2	
キャリア・市民形成	選択	アントレプレナーシップ	1~4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技 I	1~4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技 II	1~4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技 III	1~4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技 IV	1~4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツと健康 I	1~4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツと健康 II	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合A	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合B	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合C	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合D	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合E	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合F	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合G	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合H	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合I	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合J	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合K	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合L	1~4	2	
総合・学際	選択	全学総合M	1~4	2	

(2)ー1 生命科学部生命科学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
	必修科目	基礎生物学	1	2	
	必修科目	基礎化学	1	2	
	必修科目	生命科学序論	1	2	
	必修科目	生化学	1	2	
	必修科目	分子生物学	1	2	
	必修科目	有機化学	1	2	
	必修科目	化学実験	1	3	
	必修科目	先進科学創生論	1	2	
	必修科目	遺伝学	2	2	
	必修科目	分析化学	2	2	
	必修科目	生物学実験	2	3	
	必修科目	生化学実験	2	3	
	必修科目	生命科学特別講義	3	2	
	必修科目	分子生物学実験	3	3	

	必修科目	生命科学輪講I	3	2	
	必修科目	生命科学輪講II	4	2	
	必修科目	生命科学輪講III	4	2	
	必修科目	卒業研究I	4	4	
	必修科目	卒業研究II	4	4	
	必修科目	卒業論文	4	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	動物発生学	1	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	細胞生物学I	2	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	動物生理学	2	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	細胞生物学II	2	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	生殖生物学	2	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	医生理学	3	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	生命データサイエンス	3	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	メディカルバイオテクノロジー	3	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	動物発工学	3	2	
生命機能コース	コース選択必修科目	細胞生物学実験	3	1	
環境科学コース	コース選択必修科目	環境資源学	1	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	公害防止総論	2	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	環境科学概論	2	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	応用生態学	2	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	環境リスク学概論	2	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	水圏環境科学	3	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	生態毒性学	3	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	放射線生物学	3	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	環境健康科学	3	2	
環境科学コース	コース選択必修科目	環境生物学実験	3	1	
	選択科目	学外実習	1	2	
	選択科目	物理学実験	1	3	
	選択科目	基礎物理学	1	2	
	選択科目	地学	1	2	
	選択科目	基礎生態学	1	2	
	選択科目	微生物学	1	2	
	選択科目	無機化学	1	2	
	選択科目	物理学	1	2	
	選択科目	植物科学	1	2	
	選択科目	地球環境学	1	2	
	選択科目	解剖学	1	2	
	選択科目	プロジェクトI	1	2	
	選択科目	ICTリテラシー	1	2	
	選択科目	微分積分学	1	2	
	選択科目	解析学	1	2	
	選択科目	地学概論（実験を含む）	2	2	
	選択科目	タンパク質科学	2	2	
	選択科目	神経生物学	2	2	
	選択科目	実務研修I	2	1	
	選択科目	実務研修II	2	2	
	選択科目	線形数学	2	2	
	選択科目	微生物利用学	2	2	
	選択科目	環境微生物学	2	2	
	選択科目	微生物生理学	2	2	
	選択科目	危険物管理概論	2	2	
	選択科目	バイオミメティクス	2	2	
	選択科目	レギュラトリーサイエンス	2	2	
	選択科目	多変量解析	2	2	
	選択科目	生命科学英語	3	2	
	選択科目	病理学総論	3	2	
	選択科目	内分泌学	3	2	
	選択科目	公衆衛生学	3	2	
	選択科目	研究室演習	3	3	
	選択科目	血液・免疫学概論	3	2	
	選択科目	バイオイノベーション	3	2	
	選択科目	機器分析I	3	2	
	選択科目	極限環境微生物学	3	2	
	選択科目	機器分析II	3	2	
	選択科目	植物保護科学	3	2	
	選択科目	バイオメカニクス	3	2	
	選択科目	バイオマテリアル（人工臓器を含む）	3	2	
	選択科目	臨床医学概論	3	2	
	選択科目	ナノメディン	3	2	
	選択科目	マイクロバイオーム	3	2	
	選択科目	食品安全学	3	2	
	選択科目	HACCP論	3	2	

(2)ー2 生命科学部生体医工学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
	必修科目	生体医工学序論	1	2	
	必修科目	微分積分学	1	2	
	必修科目	生物学	1	2	
	必修科目	先進科学創生論	1	2	
	必修科目	医療統計学	2	2	
	必修科目	プロジェクトⅡ	2	2	
	必修科目	生体医工学実験Ⅰ	2	2	
	必修科目	生体医工学実験Ⅱ	2	2	
	必修科目	生体医工学実験Ⅲ	3	2	
	必修科目	生体医工学実験Ⅳ	3	2	
	必修科目	生体工学輪講Ⅰ	3	2	
	必修科目	生体工学輪講Ⅱ	4	2	
	必修科目	生体工学輪講Ⅲ	4	2	
	必修科目	卒業研究Ⅰ	4	4	
	必修科目	卒業研究Ⅱ	4	4	
	必修科目	卒業論文	4	2	
学科共通科目	選択必修科目	基礎化学	1	2	
学科共通科目	選択必修科目	物理学A	1	2	
学科共通科目	選択必修科目	物理学実験	1	3	
学科共通科目	選択必修科目	プロジェクトⅠ	1	2	
学科共通科目	選択必修科目	生物学実験	2	1	
学科共通科目	選択必修科目	システム工学	2	2	
学科共通科目	選択必修科目	生化学	2	2	
学科共通科目	選択必修科目	化学実験	2	3	
学科共通科目	選択必修科目	免疫学	3	2	
学科共通科目	選択必修科目	臨床医学概論	3	2	
生体工学コース	選択必修科目	機械工学	1	2	
生体工学コース	選択必修科目	材料工学	2	2	
生体工学コース	選択必修科目	計測工学	2	2	
生体工学コース	選択必修科目	バイオメカニクス	3	2	
生体工学コース	選択必修科目	人工知能	3	2	
医工学コース	選択必修科目	解剖学	1	2	
医工学コース	選択必修科目	生理学	2	2	
医工学コース	選択必修科目	細胞生物学	2	2	
医工学コース	選択必修科目	ナノメディシン	3	2	
医工学コース	選択必修科目	遺伝子工学	3	2	
	選択科目	電気工学	1	2	
	選択科目	地学	1	2	
	選択科目	地学概論(実験を含む)	1	2	
	選択科目	化学	1	2	
	選択科目	基礎物理学	1	2	
	選択科目	物理学B	1	2	
	選択科目	電磁気学基礎	1	2	
	選択科目	振動・波動	1	2	
	選択科目	人体の科学	1	2	
	選択科目	地球環境学	1	2	
	選択科目	ICTリテラシー	1	2	
	選択科目	学外実習	1	2	
	選択科目	解析学	1	2	
	選択科目	線形数学	2	2	
	選択科目	多変量解析	2	2	
	選択科目	分子生物学	2	2	
	選択科目	有機化学	2	2	
	選択科目	バイオミメティクス	2	2	
	選択科目	放射線工学概論	2	2	
	選択科目	医用工学概論	2	2	
	選択科目	レギュラトリーサイエンス	2	2	
	選択科目	公衆衛生学	2	2	
	選択科目	福祉工学	2	2	
	選択科目	微生物利用学	2	2	
	選択科目	危険物管理概論	2	2	
	選択科目	味とニオイの科学	2	2	
	選択科目	マイクロバイオーム	3	2	
	選択科目	医用電子工学	3	2	
	選択科目	認知科学	3	2	
	選択科目	バイオマテリアル	3	2	
	選択科目	運動生理学	3	2	
	選択科目	バイオセンシング	3	2	
	選択科目	細胞工学	3	2	
	選択科目	医薬化学	3	2	
	選択科目	ゲノム解析学	3	2	
	選択科目	病理学総論	3	2	
	選択科目	放射線生物学	3	2	
	選択科目	メディカルバイオテクノロジー	3	2	
	選択科目	環境健康科学	3	2	
	選択科目	機器分析Ⅰ	3	2	

	選択科目	食品安全学	3	2	
	選択科目	機械学習	3	2	
	選択科目	ビッグデータ解析 I	3	2	

(2)ー3 生命科学部生物資源学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
	必修科目	基礎生物学	1	2	
	必修科目	基礎化学	1	2	
	必修科目	生物資源学序論	1	2	
	必修科目	分析化学	1	2	
	必修科目	有機化学 I	1	2	
	必修科目	化学実験	1	3	
	必修科目	先進科学創生論	1	2	
	必修科目	生化学	2	2	
	必修科目	分子生物学	2	2	
	必修科目	生物学実験	2	3	
	必修科目	生化学実験	2	3	
	必修科目	生物資源学特別講義	3	2	
	必修科目	分子生物学実験	3	3	
	必修科目	生物資源学輪講 I	3	2	
	必修科目	生物資源学輪講 II	4	2	
	必修科目	生物資源学輪講 III	4	2	
	必修科目	卒業研究 I	4	4	
	必修科目	卒業研究 II	4	4	
	必修科目	卒業論文	4	2	
学科共通科目	選択必修科目	生物資源学ゼミナール	1	2	
学科共通科目	選択必修科目	有機化学 II	2	2	
学科共通科目	選択必修科目	バイオインフォマティクス	3	2	
学科共通科目	選択必修科目	生物資源学実験	3	3	
植物科学コース	選択必修科目	植物科学	1	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物生理学	2	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物生化学	2	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物分子栄養学	2	2	
植物科学コース	選択必修科目	作物遺伝育種学	3	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物資源利用学	3	2	
植物科学コース	選択必修科目	糖鎖科学	3	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物保護科学	3	2	
植物科学コース	選択必修科目	植物バイオテクノロジー	3	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物学	1	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物利用学	2	2	
微生物科学コース	選択必修科目	環境微生物学	2	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物学実験法	2	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物生理学	2	2	
微生物科学コース	選択必修科目	極限環境微生物学	3	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物酵素学	3	2	
微生物科学コース	選択必修科目	微生物遺伝学	3	2	
微生物科学コース	選択必修科目	アストロバイオロジー	3	2	
	選択科目	基礎化学演習	1	1	
	選択科目	基礎生物学演習	1	1	
	選択科目	地球環境学	1	2	
	選択科目	基礎物理学	1	2	
	選択科目	物理学	1	2	
	選択科目	無機化学	1	2	
	選択科目	地学概論 (実験を含む)	2	2	
	選択科目	地学	1	2	
	選択科目	物理学実験	1	3	
	選択科目	環境資源学	1	2	
	選択科目	学外実習	1	2	
	選択科目	プロジェクト I	1	2	
	選択科目	微分積分学	1	2	
	選択科目	解析学	1	2	
	選択科目	ICTリテラシー	1	2	
	選択科目	遺伝子工学	2	2	
	選択科目	生物有機化学	2	2	
	選択科目	危険物管理概論	2	2	
	選択科目	実務研修 I	2	1	
	選択科目	実務研修 II	2	2	
	選択科目	動物生理学	2	2	
	選択科目	細胞生物学 I	2	2	
	選択科目	細胞生物学 II	2	2	
	選択科目	公害防止総論	2	2	
	選択科目	環境科学概論	2	2	
	選択科目	応用生態学	2	2	
	選択科目	レギュラトリーサイエンス	2	2	
	選択科目	バイオミメティクス	2	2	
	選択科目	線形数学	2	2	
	選択科目	多変量解析	2	2	
	選択科目	機器分析 I	3	2	

	選択科目	機器分析Ⅱ	3	2	
	選択科目	生物資源学英語	3	2	
	選択科目	バイオエネルギー	3	2	
	選択科目	公衆衛生学	3	2	
	選択科目	食品安全学	3	2	
	選択科目	HACCP論	3	2	
	選択科目	放射線生物学	3	2	
	選択科目	水圏環境科学	3	2	
	選択科目	生態毒性学	3	2	
	選択科目	環境健康科学	3	2	
	選択科目	ナノメディシン	3	2	
	選択科目	医薬化学	3	2	

(3)ー1 生命科学部生命科学科 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目名	配当学年	単位数	履修方法
生命科学部	生物資源学科	微生物酵素学	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	味とニオイの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	ソムリエ講座	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	おいしさの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品物性論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品添加物	3	2	
食環境科学部	フードデータサイエンス学科	フードロジスティクス	2	2	
食環境科学部	フードデータサイエンス学科	食のマーケティングとデジタルスキル	2	2	

(3)ー2 生命科学部生物資源学科 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目名	配当学年	単位数	履修方法
生命科学部	生命科学科	医生理学	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	味とニオイの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	ソムリエ講座	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードコーディネート論	1	2	
食環境科学部	食環境科学科	食育論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	おいしさの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品物性論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品添加物	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードエンジニアリング	3	2	
食環境科学部	フードデータサイエンス学科	フードロジスティクス	2	2	
食環境科学部	フードデータサイエンス学科	食のマーケティングとデジタルスキル	2	2	

(4) 生命科学部 教職科目 (卒業要件外)

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教科及び教科の指導法に関する科目	理科指導法ⅠA	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	理科指導法ⅠB	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	理科指導法ⅡA	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	理科指導法ⅡB	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育学概論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職概論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の制度と経営	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育心理学	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育課程論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	道徳教育論	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	総合的な学習の時間の指導法	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別活動の理論と方法	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育方法の理論と実践 (情報通信技術を含む)	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	生徒指導論 (進路指導論を含む)	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育相談	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)	4	5	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)	4	3	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職実践演習 (中・高)	4	2	

別表第4 卒業に必要な単位等（第5条第1項関係）

学科	単位数
生命科学部生命科学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で90単位以上修得すること。 ② 必修科目を48単位修得すること。 ③ 各自が選択したコース選択必修科目から16単位以上修得すること。
生命科学部生体医工学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で90単位以上修得すること。 ② 必修科目を36単位修得すること。 ③ 選択必修科目から20単位以上（学科共通より8単位以上、各自が選択したコース6単位以上）修得すること。
生命科学部生物資源学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で90単位以上修得すること。 ② 必修科目を46単位修得すること。 ③ 選択必修科目から17単位以上（学科共通より5単位以上、各自が選択したコース12単位以上）修得すること。

別表第5 4年次の必修科目等を履修するための条件（第5条第2項関係）

学科	単位数
生命科学部生命科学科	1) 卒業要件となる科目で110単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で74単位以上修得すること。 ② 必修科目を34単位修得すること。 ③ 各自が選択したコース選択必修科目から16単位以上修得すること。
生命科学部生体医工学科	1) 卒業要件となる科目で104単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で70単位以上修得すること。 ② 必修科目を22単位修得すること。 ③ 選択必修科目から16単位以上（学科共通より8単位以上、各自が選択したコース4単位以上）修得すること。
生命科学部生物資源学科	1) 卒業要件となる科目で110単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目 ① 全体で24単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 学問の基礎において4単位以上修得すること。 ④ 国際人の形成（語学）において必修科目6単位修得すること。 3) 学科専門教育科目 ① 全体で74単位以上修得すること。 ② 必修科目を32単位修得すること。 ③ 選択必修科目から17単位以上（学科共通より5単位以上、各自が選択したコース12単位以上）修得すること。

別表第6 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数（第8条第1号関係）

生命科学部生命科学科

(1) 中学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	基礎物理学	1	2	必修
		物理学	1	2	必修
化学	2単位	基礎化学	1	2	必修
		有機化学	1	2	選択
		分析化学	2	2	選択
		無機化学	1	2	選択
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		生化学	1	2	選択
		分子生物学	1	2	選択
		遺伝学	2	2	必修
		動物発生学	1	2	選択
		基礎生態学	1	2	選択
		微生物学	1	2	選択
		神経生物学	2	2	選択
地学	2単位	地学	1	2	必修
物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験	11単位	物理学実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8単位	理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	必修
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	必修
小計	33単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	12単位	道徳教育論	2	2	必修
		総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	31単位	—	—	—	—

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	—	—	—	—
小計	—	—	—	—	—

合計	64単位	①、②、③の合計で64単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 高等学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	基礎物理学	1	2	必修
		物理学	1	2	必修
化学	2単位	基礎化学	1	2	必修
		有機化学	1	2	選択
		分析化学	2	2	選択
		無機化学	1	2	選択
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		生化学	1	2	選択
		分子生物学	1	2	選択
		遺伝学	2	2	必修
		動物発生学	1	2	選択
		基礎生態学	1	2	選択
		微生物学	1	2	選択
神経生物学	2	2	選択		
地学	2単位	地学	1	2	必修
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	11単位	物理学実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	選択
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	選択
小計	29単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)※	4	5※	いずれか1科目
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	選択必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	27単位	—	—	—	—

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	2	2	選択
小計	—	—	—	—	—

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	Integral English I	1	1	必修
		Integral English II	1	1	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器のの操作	2単位	情報処理基礎	1～4	2	選択必修
		情報処理演習	1～4	2	選択必修

生命科学部生体医工学科

(1) 中学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理学A	1	2	必修
		物理学B	1	2	必修
		電磁気学基礎	1	2	選択
		振動・波動	1	2	選択
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		化学	1	2	必修
生物学	4単位	生物学	1	2	必修
		生化学	2	2	選択
		解剖学	1	2	選択
		生理学	2	2	選択
		細胞生物学	2	2	必修
地学	2単位	人体の科学	1	2	選択
物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験	9単位	地学	1	2	必修
		物理学実験	1	3	必修
		化学実験	2	3	必修
		生物学実験	2	1	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8単位	地学概論(実験を含む)	1	2	必修
		理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	必修
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	必修
小計	33単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	12単位	道徳教育論	2	2	必修
		総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育相談	2	2	必修
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	31単位	—	—	—	—

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	—	—	—	—
小計	—	—	—	—	—

合計	64単位	①、②、③の合計で64単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 高等学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理学A	1	2	必修
		物理学B	1	2	必修
		電磁気学基礎	1	2	選択
		振動・波動	1	2	選択
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		化学	1	2	必修
生物学	4単位	生物学	1	2	必修
		生化学	2	2	選択
		解剖学	1	2	選択
		生理学	2	2	選択
		細胞生物学	2	2	必修
人体の科学	1	2	選択		
地学	2単位	地学	1	2	必修
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	9単位	物理学実験	1	3	必修
		化学実験	2	3	必修
		生物学実験	2	1	必修
		地学概論(実験を含む)	1	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	理科指導法I A	3	2	必修
		理科指導法I B	3	2	選択
		理科指導法II A	3	2	必修
		理科指導法II B	3	2	選択
小計	29単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育相談	2	2	必修
		教育実習I(事前・事後指導を含む)※	4	5※	いずれか1科目
		教育実習II(事前・事後指導を含む)	4	3	選択必修
教職実践演習(中・高)	4	2	必修		
小計	27単位	—	—	—	—

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	2	2	選択
小計	—	—	—	—	—

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	Integral English I	1	1	必修
		Integral English II	1	1	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報処理基礎	1～4	2	選択必修
		情報処理演習	1～4	2	選択必修

生命科学部生物資源学科

(1) 中学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	基礎物理学	1	2	必修
		物理学	1	2	必修
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		分析化学	1	2	選択
		有機化学Ⅰ	1	2	必修
		無機化学	1	2	選択
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		生化学	2	2	必修
		分子生物学	2	2	選択
		植物生理学	2	2	選択
地学	2単位	微生物学	1	2	選択
		地学	1	2	必修
物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験	11単位	物理学実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8単位	理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	必修
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	必修
小計	33単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	12単位	道徳教育論	2	2	必修
		総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	31単位	—	—	—	—

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	—	—	—	—
小計	—	—	—	—	—

合計	64単位	①、②、③の合計で64単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 高等学校教諭1種免許状(理科)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	基礎物理学	1	2	必修
		物理学	1	2	必修
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		分析化学	1	2	選択
		有機化学I	1	2	必修
		無機化学	1	2	選択
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		生化学	2	2	必修
		分子生物学	2	2	選択
		植物生理学	2	2	選択
		微生物学	1	2	選択
地学	2単位	地学	1	2	必修
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	11単位	物理学実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	理科指導法I A	3	2	必修
		理科指導法I B	3	2	選択
		理科指導法II A	3	2	必修
		理科指導法II B	3	2	選択
小計	29単位	—	—	—	—

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育学概論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		特別支援教育基礎論	1	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	総合的な学習の時間の指導法	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習I(事前・事後指導を含む)※	4	5※	いずれか1科目
		教育実習II(事前・事後指導を含む)	4	3	選択必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	27単位	—	—	—	—

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	2	2	選択
小計	—	—	—	—	—

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1~4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技I	1~4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技II	1~4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技III	1~4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技IV	1~4	1	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	Integral English I	1	1	必修
		Integral English II	1	1	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報処理基礎	1~4	2	選択必修
		情報処理演習	1~4	2	選択必修

別表第7 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第2号関係）

生命科学部生命科学科

区分	基本科目名	授業科目名	配当学年	単位数	履修方法
A群 化学関係	分析化学	分析化学	2	2	必修
		機器分析I	3	2	選択
	有機化学	基礎化学	1	2	必修
		有機化学	1	2	必修
		化学実験	1	3	必修
	無機化学	無機化学	1	2	選択
B群 生物化学 関係	生物化学	生化学	1	2	必修
		生化学実験	2	3	必修
		タンパク質科学	2	2	選択
C群 微生物学 関係	微生物学	微生物学	1	2	必修
		微生物利用学	2	2	必修
		微生物生理学	2	2	選択
D群 公衆衛生 学関係	公衆衛生学	公衆衛生学	3	2	必修
	食品衛生学	HACCP論	3	2	選択
	衛生行政学	食品安全学	3	2	必修
E群 その他の 関連科目	環境汚染物質分析学	生態毒性学	3	2	選択
	家畜生理学	動物生理学	2	2	必修
		動物発生工学	3	2	選択
	環境生物学	環境健康科学	3	2	必修
	病理学	病理学総論	3	2	選択
	血液学	血液・免疫学概論	3	2	選択
	遺伝学	遺伝学	2	2	必修

※A群～D群については、必修科目をすべて修得の上、計22単位以上修得すること。

※E群の科目を含めて、総単位数40単位以上を修得すること。

※編入学により入学した学生は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得することはできない。

※転入学により入学した学生が資格を取得する場合は、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成課程からでないことと認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当学校の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。

生命科学部生物資源学科

区分	基本科目名	授業科目名	配当学年	単位数	履修方法
A群 化学関係	分析化学	分析化学	1	2	選択
		機器分析 I	3	2	必修
	有機化学	基礎化学	1	2	必修
		有機化学 I	1	2	必修
		化学実験	1	3	必修
	無機化学	無機化学	1	2	選択
B群 生物化学 関係	生物化学	生化学	2	2	必修
		生化学実験	2	3	選択
C群 微生物学 関係	微生物学	微生物学	1	2	必修
		微生物利用学	2	2	必修
		微生物生理学	2	2	選択
D群 公衆衛生 学関係	公衆衛生学	公衆衛生学	3	2	必修
	食品衛生学	HACCP論	3	2	選択
	衛生行政学	食品安全学	3	2	必修
E群 その他の 関連科目	生物有機化学	生物学実験	2	3	必修
	環境汚染物質分析学	生態毒性学	3	2	選択
	酵素化学	微生物酵素学	3	2	選択
	家畜生理学	動物生理学	2	2	必修
	植物生理学	植物生理学	2	2	選択
		植物バイオテクノロジー	3	2	選択
	環境生物学	環境微生物学	2	2	必修
応用微生物学	微生物学実験法	2	2	必修	

※A群～D群については、必修科目をすべて修得の上、計22単位以上修得すること。

※E群の科目を含めて、総単位数40単位以上を修得すること。

※編入学により入学した学生は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得することはできない。

※転入学により入学した学生が資格を取得する場合は、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成課程からでないと認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当学校の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。